

令和3年度

岩手県立総合教育センターの事業の概要



<目次>

	(ページ)
I 研修事業について	1 ~ 4
II 支援事業について	5 ~ 8
III 研究事業について	9 ~ 12

令和4年2月25日(金)

岩手県立総合教育センター

I 研修事業について

◇ 研修講座の状況及び研修成果の効果測定（評価）について

(1) 実施状況

新型コロナ・ウイルス感染拡大（岩手緊急事態宣言発令等）により、4月、8～9月及び1月実施の研修講座において、13 研修講座をライブ型（12）及びオンデマンド型（DVD視聴）（1）で実施、1 研修講座を中止とした。

<ライブ型>12 研修講座

基本研修	・中学校初任Ⅱ（8/25～27） ・小学校初任Ⅱ（9/1～3）	・特別支援学校初任Ⅱ（8/24～26） ・特別支援学校2年Ⅱ（9/16～17）
特別研修	・特別支援教育担当ステップアップⅠ（8/31）・教育相談コーディネーターⅡ（9/10）	
希望研修	・特別支援教育新任担当教員（スタート研修）（4/2） ・組織マネジメント（9/3） ・高校「情報」授業づくり（9/14） ・高校における特別支援教育実践力向上（1/27～28）	
	・高校家庭（9/9） ・養護教諭スキルアップ（救急看護）（9/14）	

<オンデマンド型（DVD視聴）>1 研修講座（ICT環境が整っていない園等があるため）

基本研修	・幼稚園等初任Ⅱ（9/7～9）
------	-----------------

<中止>1 研修講座（研修場所の地域資源及び施設を活用する研修内容のため）

希望研修	・現地に学ぶ地学（9/7）
------	---------------

(2) 研修講座の状況及び研修成果の効果測定（評価）について

研修講座アンケートの集計結果（令和4年1月31日までに終了した研修講座）

<研修の総合的な評価>「今回の研修は、皆さんにとって、ねらいを達成する上で適切な内容でしたか」

A：そう思う B：どちらかと言えばそう思う C：どちらかと言えばそう思わない D：そう思わない

研修講座の種類	研修者数	定員	A		B		C		D		提出者数	充足率
初任研	951	1,080	860	90.4%	88	9.3%	3	0.3%			951	
教職経験者	834	866	771	92.7%	61	7.3%					832	
授業力向上研修	2,741	3,660	2,285	83.4%	449	16.4%	7	0.3%			2,741	
①基本研修合計	4,526	5,606	3,916	86.6%	598	13.2%	10	0.2%			4,524	
新任研修	580	653	486	83.8%	91	15.7%	3	0.5%			580	
教職専門等研修	531	640	469	88.3%	62	11.7%					531	
②特別研修合計	1,111	1,293	955	86.0%	153	13.8%	3	0.3%			1,111	
教科研修	64	140	60	93.8%	3	4.7%	1	1.6%			64	45.7%
領域等研修	24	43	21	87.5%	3	12.5%					24	55.8%
情報教育研修	57	125	49	86.0%	8	14.0%					57	45.6%
教育相談研修	140	235	128	91.4%	12	8.6%					140	59.6%
特別支援教育研修	237	273	196	83.4%	39	16.6%					235	86.8%
幼児教育研修	113	180	99	87.6%	14	12.4%					113	62.8%
③希望研修小計(公開除く)	635	996	553	87.4%	79	12.5%	1	0.2%			633	63.8%
④公開研修小計	89	253	74	83.1%	15	16.9%					89	35.2%
⑤希望研修合計(③+④)	724	1,249	627	86.8%	94	13.0%	1	0.1%			722	58.0%
⑥派遣研修(長期研修)	6	6	5	83.3%	1	16.7%					6	
合計(①+②+⑤+⑥)	6,367	8,154	5,503	86.5%	846	13.3%	14	0.2%			6,363	

※⑥派遣研修（長期研修）は通級による指導担当教員養成研修講座修了者のみ

(3) 評価結果（R3年度のみ1月31日までの集計結果）

年度	評価			
	A	B	C	D
R3	86.5%	13.3%	0.2%	0%
R2	87.3%	12.5%	0.2%	0%
R1	88.7%	11.1%	0.2%	0%
H30	88.8%	10.8%	0.3%	0%
H29	89.8%	9.9%	0.1%	0.1%

(4) 結果から

今年度から、(1)のとおり感染症拡大状況に鑑み、オンライン等の研修講座を実施した。評価結果は例年に近い数値であった。来年度は、各研修講座の特性を生かした実施形態等で企画運営を行い、教員研修計画及び本県の教育動向に基づき内容を精査しながら研修の充実に努める。

総合教育センター要請研修(令和3年4月～令和4年1月)

1 校種別月別研修者数

校種	月												合計	R2年度 同期	R元年度 同期	R2年度 年間合計	R元年度 年間合計	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
幼稚園・保育園	0	0	0	10	0	0	34	26	0	25				95	232	355	312	355
小学校	0	53	38	82	0	1	42	232	5	0				453	901	1,796	915	1,811
中学校	0	57	103	99	2	28	22	113	26	2				452	228	1,125	230	1,125
高等学校	50	51	155	102	0	30	0	177	41	0				606	665	1,935	667	1,957
特別支援学校	0	0	23	32	0	30	18	25	0	0				128	109	693	109	693
その他	0	19	0	81	0	44	221	85	24	0				474	1,961	10,603	2,115	10,885
合計	50	180	319	406	2	133	337	658	96	27	0	0		2,208	4,096	16,507	4,348	16,826
R2年度	0	140	103	345	202	476	1,083	694	973	80	121	131		4,348				
R元年度	1,367	1,718	1,732	2,085	328	2,726	1,903	2,398	1,166	1,084	319	0		16,826				

R2年度 1 月まで累計 4,096

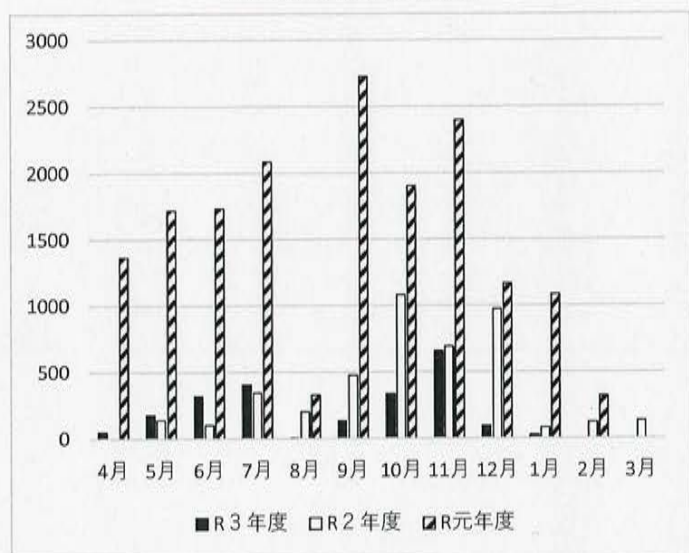
R元年度 1 月まで累計 16,507

※教員研修者数の合計は 1,734 名

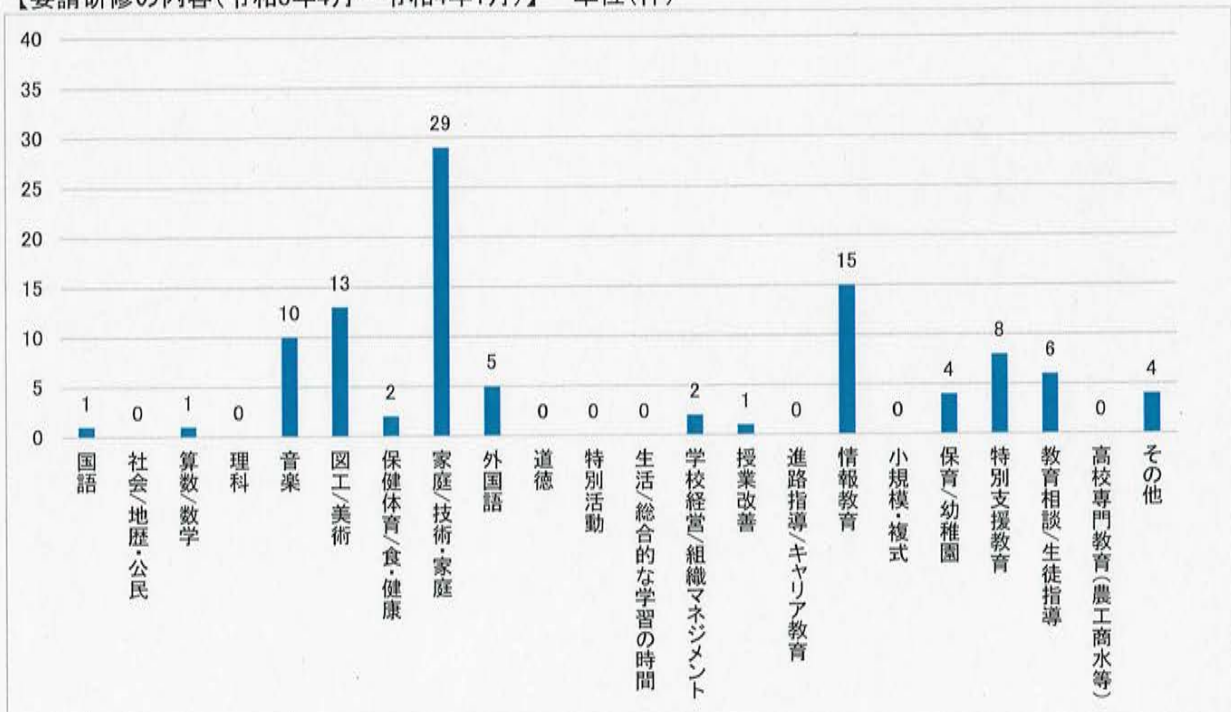
【要請研修の累積件数】



【要請研修の研修者数】



【要請研修の内容(令和3年4月～令和4年1月)】 単位(件)



総合教育センター随時研修(令和3年4月～令和4年1月)

1 校種別月別研修者数

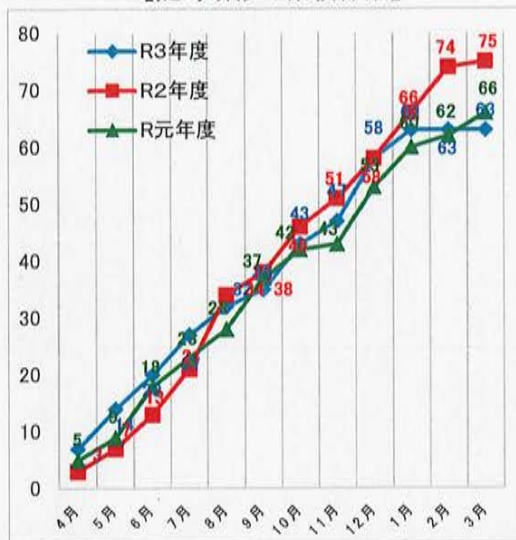
校種	月												合計	R2年度 同期	R元年度 同期	R2年度 年間合計	R元年度 年間合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
幼稚園・保育園	0	0	6	3	0	0	6	0	0	0			15	15	21	15	24
小学校	8	14	5	10	10	4	16	1	5	1			74	67	92	72	94
中学校	9	7	0	9	5	5	15	0	1	2			53	32	61	34	62
高等学校	1	1	1	0	0	0	1	6	13	1			24	28	15	35	16
特別支援学校	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0			3	28	13	28	14
その他	1	0	5	0	0	3	0	3	20	1			33	71	27	77	29
合計	19	22	17	22	15	12	40	10	40	5	0	0	202	241	229	261	239
R2年度	4	11	22	8	52	25	28	10	51	30	19	1	261				
R元年度	29	9	9	46	40	55	14	1	19	7	4	6	239				

R2年度 1 月まで累計 241

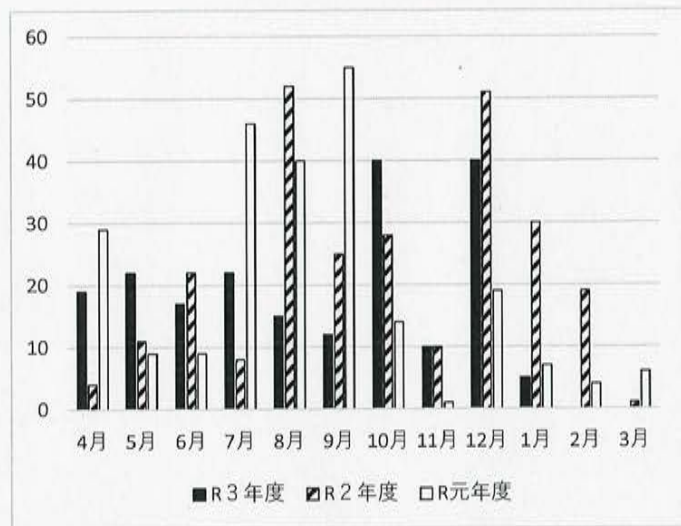
R元年度 1 月まで累計 229

※教員研修者数の合計は 169 名

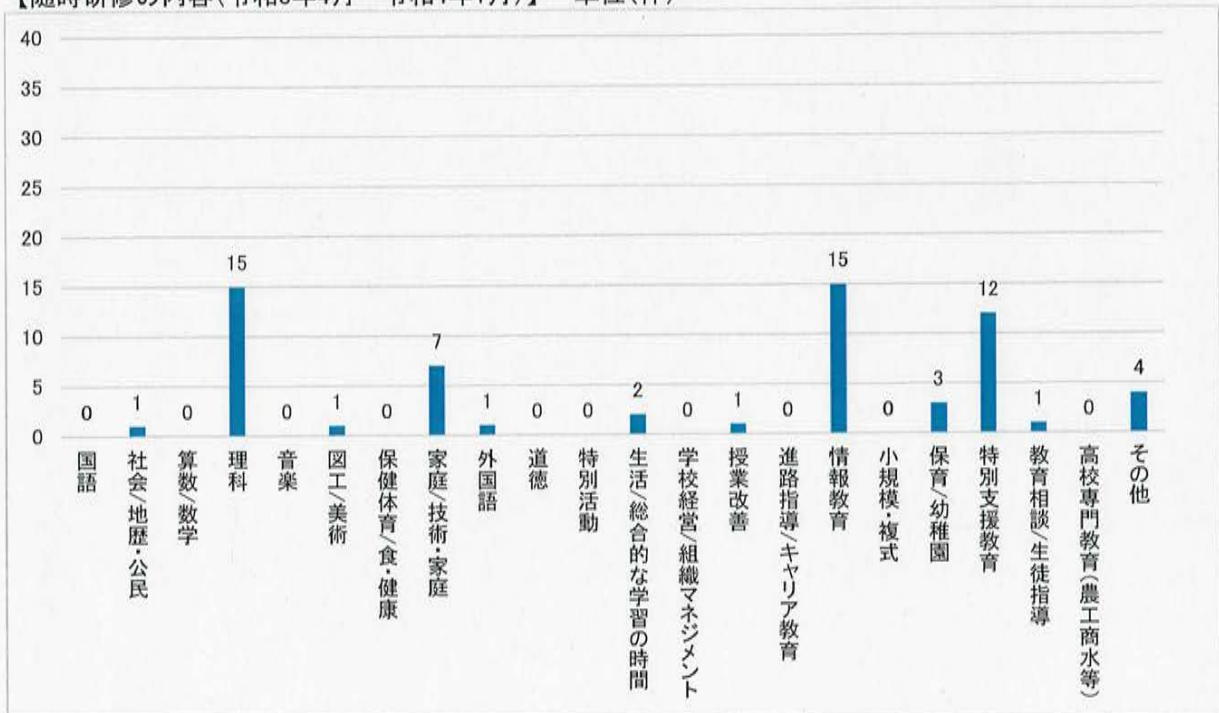
【随時研修の累積件数】



【随時研修の研修者数】



【随時研修の内容(令和3年4月～令和4年1月)】 単位(件)



総合教育センター移動センター(令和3年4月～令和4年1月)

1 校種別月別研修者数

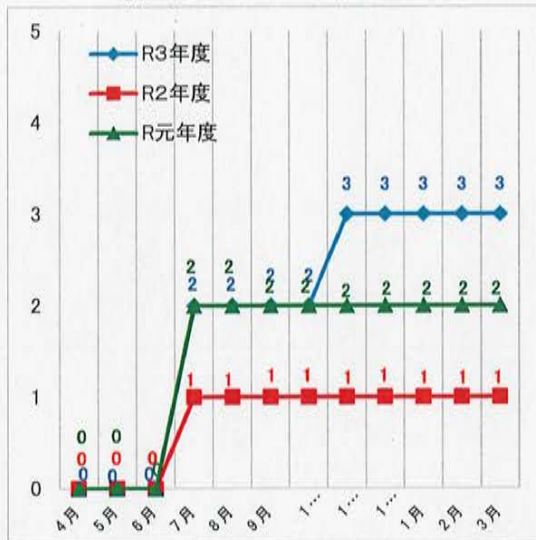
校種	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	R2年度 同期	R元年度 同期	R2年度 年間合計	R元年度 年間合計
幼稚園・保育園		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0
小学校		0	0	0	22	0	0	0	12	0	0			34	15	25	15	25
中学校		0	0	0	8	0	0	0	0	0	0			8	1	4	1	4
高等学校		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0
特別支援学校		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	38	0	38
合計		0	0	0	30	0	0	0	12	0	0	0	0	42	16	67	16	67
R2年度		0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	16				
R元年度		0	0	0	67	0	0	0	0	0	0	0	0	67				

R2年度 1月まで累計 16

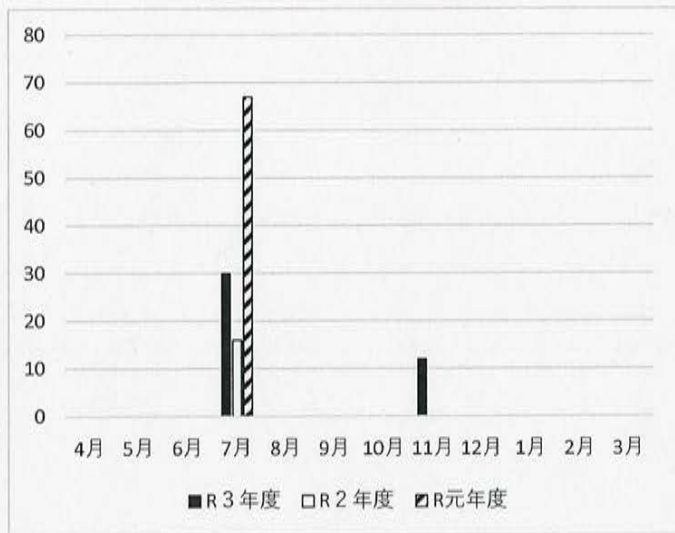
R元年度 1月まで累計 67

※教員研修者数の合計は 42 名

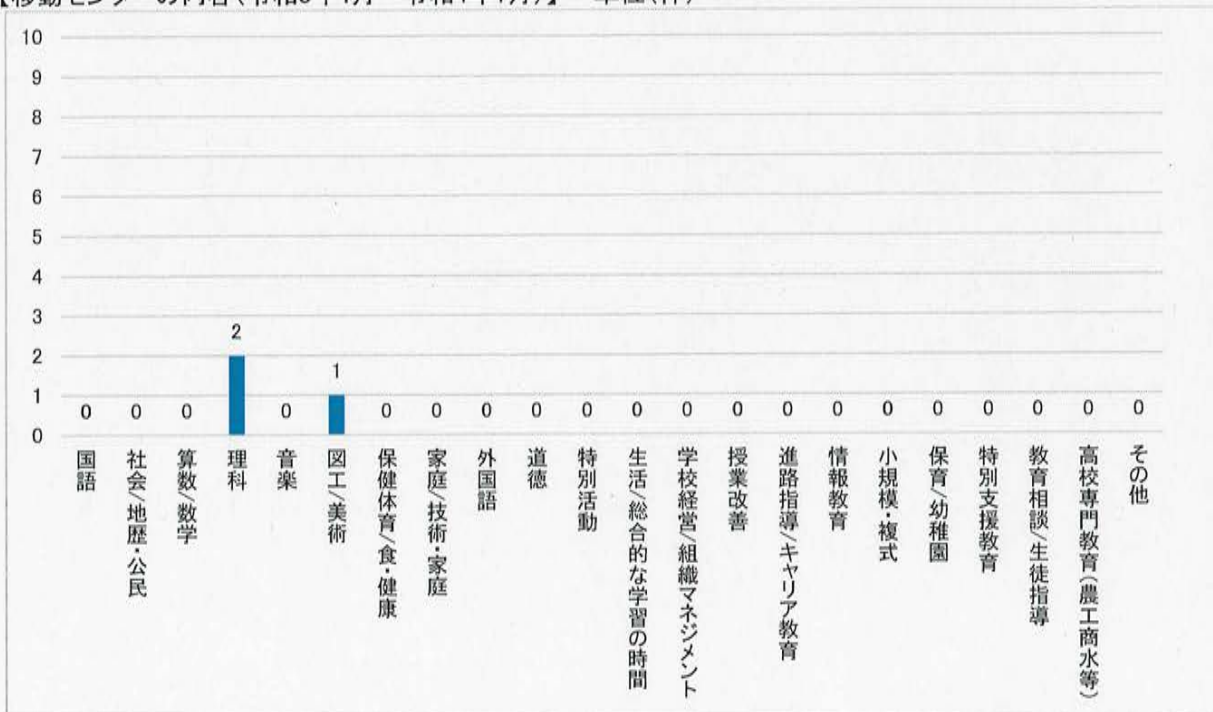
【移動センターの累積件数】



【移動センターの研修者数】



【移動センターの内容(令和3年4月～令和4年1月)】 単位(件)



II 支援事業について

1 教育相談事業

(1) 相談内容別相談件数（令和4年1月末現在）

（単位：件）

相談内容	R3		R2		R1		H30	
	年間	1月末まで	年間	1月末まで	年間	1月末まで	年間	1月末まで
不登校		(205)	504	(447)	440	(347)	321	(265)
いじめ		(35)	14	(12)	25	(22)	59	(48)
非行		(7)	21	(19)	8	(5)	13	(12)
生徒指導一般		(635)	666	(562)	642	(562)	807	(693)
進路		(19)	19	(15)	54	(47)	100	(86)
学業		(253)	256	(209)	265	(220)	313	(270)
家庭生活		(36)	68	(62)	59	(51)	65	(60)
その他		(251)	264	(220)	235	(217)	325	(286)
計		(1,441)	1,812	(1,546)	1,728	(1,471)	2,003	(1,720)

- ・複数の相談内容がある場合は、主たる内容を計上していること。
- ・相談総数は、令和4年1月末時点で1,441件であり、前年同時期比で105件の減少となっている。
- ・様々な要因が内包した難しい相談ケースもある。

(2) 相談形態別相談件数（令和4年1月末現在）

（単位：件）

形態	R3		R2		R1		H30	
	年間	1月末まで	年間	1月末まで	年間	1月末まで	年間	1月末まで
電話		(1,092)	1,266	(1,095)	1,162	(1,015)	1,410	(1,266)
来所		(271)	441	(360)	484	(382)	504	(415)
訪問		(78)	105	(91)	82	(74)	89	(79)
計		(1,441)	1,812	(1,546)	1,728	(1,471)	2,003	(1,720)

- ・形態別相談件数では、電話相談が約1,092件と最も多い。コロナ感染拡大に伴う緊急事態宣言発令のため、来所相談を制限した期間があったこと。
- ・最初に、電話相談を受け、内容や状況に応じて、来所相談や訪問相談を実施するケースがある。

(3) 校種別相談件数（令和4年1月末現在）

（単位：件）

校種	R3		R2		R1		H30	
	年間	1月末まで	年間	1月末まで	年間	1月末まで	年間	1月末まで
小学生		(490)	718	(599)	619	(502)	805	(670)
中学生		(381)	560	(471)	518	(435)	585	(516)
高校生		(477)	434	(387)	551	(495)	597	(522)
その他		(93)	100	(89)	40	(39)	16	(12)
計		(1,441)	1,812	(1,546)	1,728	(1,471)	2,003	(1,720)

- ・その他は、未就学、短大・大学・専門学校、社会人であること。
- ・校種別相談件数は、小学校が最も多く、次いで、高等学校、中学校の順となっている。

(4) 教育支援相談業務の成果と課題

- ・近年の相談としては、学校のみならず、医療機関からの紹介で、相談につながるケースも多くなっており、相談内容に応じて、他機関と必要な連携を図っていくことが求められている。
- ・沿岸地区の教育相談機能の充実に資する目的から、沿岸地区高等学校（高田、釜石、宮古）を拠点として、「沿岸地区相談室」を実施している。継続的支援を要する相談ケースや、学級経営や生徒指導に苦慮する教員へのコンサルテーションにより、効果的な対応ができています。また、教育相談担当スーパーバイザーとして同行していただいた駒澤大学の八巻秀教授から、各地区及び各ケースの支援についての助言をいただき、相談を担当する所員のスキルアップにも繋がった。同行が難しい場合には、オンラインにて対応いただいた。次年度は、これまで未実施であった久慈地区での開設を試行する予定である。
- ・長期研修（教育相談コーディネーター養成研修）を終えた現職教員が65名（小21 中24 高12 特8）となり、多くの修了生が各所属校での教育相談等に尽力をしている。また、当センターで事例発表を行い、ブラッシュアップの場も設けている。今後は、学校教育室生徒指導担当の取組である「学校教育相談エリア相談員」としての活動等、地域での活躍が求められる。

2 いじめ問題に対応した教育相談機能の充実について

(1) 教育センターにおけるいじめに関する相談の現状（令和4年1月末現在）

いじめに関する教育相談件数を見ると、令和元年度は25件、令和2年度は14件であった。令和3年度は1月末現在で35件と、前年度同期件数に比較し増加している。

ケースの中には、いじめにより学校に行けなくなっている重大事態に該当すると考えられるものがあり、学校への継続的な支援が必要なものも含まれる。今後、関係機関との情報共有及び連携の下、各ケースへ適切に対応していくことが求められている。

(2) いじめ問題に関する研修講座の見直し

本県の喫緊の課題であるいじめ問題に関し、以前は希望研修として実施していた3講座を平成30年度から、管理職対象と担任層対象の2つの特別研修として実施している。管理職対象研修講座では、法を踏まえた対応と重大事態への対応における組織としての対応力向上に重点を置き、担任層対象研修講座では、法の理解とともに学級集団づくりの在り方に重点をおいた研修内容としており、校内での役割に応じた実践力の向上を図っている。

【令和4年度いじめ関連研修講座】

期 日	研修講座名	対象者	対象校(予定)
5月24日(火) ～25日(水)	いじめ問題への理解と対応 研修講座（管理職、担任層 対象・いじめ関連講座①）	管理職・主任層	小 54 中 27 高 13 特 2
5月17日(火) ～18日(水)	いじめを予防する学級集団 作り研修講座（学級担任層 対象・いじめ関連講座②）	学級担任層(教諭)	小 54 中 27 高 12 特 2

- ・平成30年度から6年間で県内全校種、全校が受講完了の予定であったが、令和2年度は、新型コロナによる非常事態宣言期間と重なり、感染防止のため令和3年度に延期となった。予定期間を1年延長し、県内すべての学校が受講完了するまで継続する。

3 教育情報・資料提供等について

(1) 主な刊行物

次の刊行物を編集し、県内外の関係機関に配付

ア 『教育研究岩手』 第109号

- ・「新しい時代を拓く子どもたちの主体的な学びの充実を図るカリキュラム・マネジメントー主体的・対話的で深い学びの視点からの学習評価ー」を特集テーマに、優れた実践研究等を収録、12月に発行

イ 『教育研究』 177

- ・2月に開催した県教育研究発表会における所員等の研究報告を3月にWebに掲載して公開

(2) インターネットやデータベース等による情報提供

ア Webによる情報発信 (<http://www1.iwate-ed.jp/>)

- ・今年度、新着情報は33回の更新(1月26日現在)
- ・研修や研究に関する情報、開発教材・マニュアル・手引きの提供等

イ Facebookによる情報発信

- ・令和2年度から開始。今年度は66回の掲載(1月26日現在)
- ・実施した研修の様子などについて迅速な情報提供

ウ 電子メールによる情報発信

- ・メールマガジン「教育センターニュース」7回配信済

エ データベースによる情報発信

- ・学習指導案データベースは、県内の研究を収集してWebで公開

オ 情報モラル教育にかかる支援 (<http://www1.iwate-ed.jp/tantou/joho/moral/>)

- ・情報モラル教育授業づくり研修(小・中学校対象)事務所単位6地域で実施 R01~03計画



- ・教育振興運動の取組として生涯学習推進センターと連携した情報モラル教育の推進
情報モラルに関する学校からの教職員研修の要請について、総合教育センター研修指導主事が対応し、総合教育センターの開発した情報モラル教材とタブレットPCやスマートフォンを活用して、体験的な活動をとおした授業や講演会の実施
- ・総合教育センター対応 児童生徒情報モラル授業支援
- ・「SNS Chat!!」等の開発教材や道徳資料等を研修講座でのCD配布、Web ページでの提供

カ 小学校プログラミング教育にかかる支援

- ・小学校プログラミング教育授業づくり研修 (R01～03 計画)
事務所単位 6 地域、7 カ所実施し、教育センター所員が授業者として提案授業を提供し、研修会と研究協議を行い、プログラミング教育に関する教員研修の実施
- ・小学校プログラミング教育研修資料 (R 元年度作成) を活用した研修の推進



キ 学習支援 (Gアップシート、Gベース) (<https://www1.iwate-school.jp/>)

- ・県教育委員会事務局と総合教育センターで作成した「Gアップシート」(中学校国語・数学・英語の学習シート) をインターネット上で学習できる教材として平成 20 年 11 月から提供
- ・H27 年 3 月から、サーバの運用管理を外部専門業者へ委託し安全性や利便性を高めて再開



ク 情報共有サイト (岩手教育情報交流ネット) (<https://www2.iwate-school.jp/>)

- ・国立情報学研究所が次世代情報共有基盤システムとして開発した「NetCommons」を利用して構築
- ・各教育委員会間、各学校間、教育委員会と学校間でのデータ共有が可能
- ・IDとパスワードを学校単位で発行
- ・H21 年度から研修講座申込、県教育研究発表会参加申込等をネットで受付。研修講座実施要項、学校公開等の情報発信に利用
- ・県教育委員会から小中高特別支援学校への情報提供にも利用
- ・H27 年 3 月から、サーバの運用管理を外部専門業者へ委託し、安全性や利便性を高めて再開



(3) センター一般公開

「いわて教育の日」の事業の一環として、センターの施設・設備を県民のみなさまに紹介している。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、11月1日(月)から令和4年1月14日(金)まで動画を配信した。(現在も1動画配信中)

Ⅲ 研究事業について

1 所員の研究主題

- (1) 【総論】ICTを活用した学習活動の充実に関する研究（1年次）※2年研究
－教員のICT活用指導力の充実に資する実践事例集の作成を通して－
- (1-1) 小学校 第5学年 音楽科 A「表現「音楽づくり」
「全体のまとまりを意識し、思いや意図をもって音楽をつくる活動の充実に関する実践」
- (1-2) 中学校 第2学年 国語科 C 読むこと
「複数の文章を比較しながら読むことを通して論理的に考える学習の充実に関する実践」
- (1-3) 小学校第5学年及び第6年 理科 B生命・地球
「問題解決の過程において児童及び教師が情報を適切に活用し理科の学習の充実を図ることに関する実践」
- (1-4) 高等学校 理科 物理基礎 波の性質
「探究の過程において仮説を立て、検証する学習の充実を図ることに関する実践」
- (1-5) 高等学校 第2学年 理科 生物基礎 (2) 生物の体内環境の維持
「探究の過程において資料を適切に活用し理科の学習の充実を図ることに関する実践」
- (1-6) 中学校 技術・家庭科[家庭分野] B衣食住の生活
「住生活の課題を解決する学習の充実に関する実践」
- (1-7) 高等学校 商業科 情報処理(3) 情報の集計と分析
「ビジネスに関する表とグラフを検討することで、課題を発見、解決する学習の充実に関する実践」
- (2) 特別支援学校における図画工作科・美術科の授業づくりに関する研究
－文化芸術活動の充実に向けて－

2 長期研究生の研究主題

- (1) 高等学校公民科「公共」における思考力、判断力、表現力等を育む授業の在り方に関する研究
－大項目B「自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」の単元構想の工夫と学習活動の充実を通して－
- (2) 特別支援学校における障がい種に応じた専門性の向上と指導の充実に関する研究
－自立活動指導資料（聴覚障がい）の作成を通して－

3 令和3年度の研究成果普及のための取組について

- (1) Web ページ・メールマガジン等を活用した研究成果の発信
- (2) 研究リーフレットの作成・配布、概要版等研究成果物の見本展示
- (3) 研修講座での積極的活用
- (4) 要請研修・随時研修・移動センターでの活用
- (5) 外部機関・発表会等における研究成果の発信
- (6) 教育事務所や市町村教育委員会の指導主事と連携した普及
- (7) 提案授業の実施

- ① 小学校図画工作科 [八幡小 9/15]
- ② 中学校理科 [西南中 11/5 ※映像を使用、会場は教育センター]
高等学校理科(化学) [盛岡二高 11/5 ※映像を使用、会場は教育センター]
- ③ 小学校理科(プログラミング) [渋民小 12/2]
- ④ 高等学校情報科 [不来方高 12/13 ※映像を使用、会場は教育センター]



(8) 岩手県教育研究発表会

期日及び実施形態 令和4年2月9日(火)全体会【ライブ型】

令和4年10日(水)学びの改革プロジェクト研究発表【ライブ型】

令和4年2月14日(月)から28日(月)分科会等【オンデマンド型】

【分科会毎の発表本数・参加者数等の推移】

※R3年度はオンライン開催となり、どの分科会も視聴可能のため総数のみ表示

分科会名	発表本数・分科会の内容構成		参加者数(単位:人)			
	令和3年度		R3 年度	R2 年度	R元 年度	備考
	発表	分科会の内容構成 (表記は構成順)				
全体会【ライブ】	0(0)	講演	87	487	507	R3は学校数
特設-学びの改革プロジェクト研究発表【ライブ】	8(0)	総論説明、実践発表、講評		—	—	自由参加
特設1-学力向上	2(0)	実践発表、助言		161	176	
特設2-校種間におけるカリキュラム・マネジメント	3(0)	発表、助言		107	—	R2 開設
特設3-コミュニティー・スクール	4(0)	実践発表、助言		102	84	
特設4-幼小接続	2(0)	実践発表、助言		—	—	R3 開設
01 国語	7(0)	実践発表、助言		59	79	
02 社会/地理歴史・公民	3(1)	実践発表、助言		46	49	
03 算数/数学	4(0)	実践発表、助言		141	168	
04 理科	4(0)	実践発表、助言		42	84	
05 音楽	2(0)	実践発表、助言		22	35	
06 図画工作/美術	1(0)	実践発表、助言		17	42	
07 情報教育/家庭/技術・家庭/商業	1(0)	実践発表、助言		36	21	R2 技術統合 R3 商業統合
08 体育/保健体育	3(0)	実践発表、助言	651	23	47	
09 外国語活動/外国語	3(0)	実践発表、助言		104	67	R1 小と分離
10 幼児教育	2(0)	実践発表、助言		73	78	
11 教育相談	8(5)	実践発表、助言		60	78	
12 特別支援教育	2(2)	実践発表、助言		138	119	
13 センターICT研究	9(9)	実践発表、助言		—	—	R3 開設
14 道徳教育	1(0)	実践発表、助言		64	138	
15 いきる・かかわる・そなえる				124	113	本庁主催
16 情報教育/技術・家庭[技術]				—	47	R2 家庭と統合
17 学校マネジメント/異校種間連携				—	124	特設2へ
18 キャリア教育/総合的な学習(探究)の時間				34	52	未開設
19 小学校外国語教育				—	122	R2 外国語に統合
合計	69 (17)		738	1,973	2,366	R3 不確定

※発表欄の()内の数は、研修指導主事及び長期研修生の研究等の本数である。

※「全体会」「学びの改革プロジェクト研究発表」は分科会と同期間にオンデマンド型でも配信する。

※「特別の教科 道徳」は独自開催となる。

※「学びの改革プロジェクト研究発表」が自由参加となったため参加人数は確定できない。

4 研究の内部(所内)評価と外部(所外)評価の取組について

(1) 内部評価の取組について

- ア 所内研究検討会：5月・9月・12月・1月・3月に実施
- イ 研究評価カード：各研究主題について所員・長期研修生がコメントを記入し、その後の研究に反映させている。
- ウ 担当室内における検討会：担当室毎に室検討会を実施して改善を図っている。

(2) 外部評価の取組について

- ア 岩手県教育研究発表会において、当センターの研究発表に対する評価を、参加者からアンケート方式で収集して、次年度の研究発表会に生かしている。
- イ 「総合教育センターの研修・支援・研究業務の推進に関する調査(全県調査)」を隔年で実施している。この調査から、研究成果物の活用状況や当センターが取り組む研究に対するニーズ等を確認し、業務に反映させている。今回は令和4年度2～3月に調査を実施予定。

5 令和4年度の研究について

(1) 令和4年度研究として、所員による授業実践研究9本と長期研修生による主題研究3本を立ち上げる予定である。

(2) 研究主題・副題(仮)と担当室 ※研究区分(ICT: ICT活用研究、通常: 従来型の研究)

ア 所員による研究(9本)

No	研究区分	授業実践名(令和4年2月1日現在)	担当室
1	ICT	小学校 第6学年 社会科 幕府の政治と人々の暮らし 「我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動の充実に 関する実践」	教科領域
2	ICT	高等学校 地理歴史科 歴史総合 「課題に対して立てた問いを、他者と協働し探究する活動の充実に 関する実践」	
3	ICT	中学校 第2学年 理科 [第2分野] (4) 気象とその変化 『気象とその変化』において、気象データを収集し、分析・解釈する学習の充実に 関する実践」	理科
4	ICT	中学校 第3学年 理科 [第1分野] (6) 化学変化とイオン 「電極における変化を、イオンのモデルと関連付けて微視的に捉える学習の充実に 関する実践」	
5	ICT	高等学校 理科 化学基礎 (3) 物質の変化とその利用 (ア) 物質と化学反応式 「データの分析・解釈における考察・推論の充実に 関する実践」	
6	ICT	高等学校 家庭科 家庭基礎 B (3) 住生活と住環境 「ライフステージに応じた住生活に関する学習の充実に 関する実践」	情報・産業
7	ICT	高等学校 工業科 工業情報数理 「事象の数理処理に関する学習の充実に 関する実践」	
8	ICT	小学校 知的障がい特別支援学級 国語科 算数科 「知的障がいのある児童の学習において、思考を促し、表現する活動の充実に 関する実践」	教育支援 相談
9	ICT	小学校 LD等通級指導教室 自立活動 4環境の把握 「自分の感覚や認知の特性について理解し、得意な方法を活用し、不得意なことを 改善することに関する実践」	

イ 長期研修生による研究（3本） （中2、特1）

No	研究区分	研究主題名（令和4年2月1日現在）	担当室
1	I C T	中学校外国語科における領域統合型の言語活動の充実に関する研究 －領域と領域をつなぐツールとしてのI C T活用を通して－	教科領域
2	通常	キャリア教育の視点に立った進路指導に関する研究 －中学校特別支援学級における将来の自立と社会参加に向けた取組を通して－	教育支援 相談
3	通常	特別支援学校における障がい種に応じた専門性の向上と指導の充実に関する研究 －自立活動指導資料（肢体不自由）の作成を通して－	